

2022年度 日本工学院専門学校											
声優・演劇科											
舞台総合実習											
対象	1 年次	開講期	前期	区分	必修	種別	実習	時間数	120	単位	4
担当教員	田中信也、いわいのふ、染谷麻衣、山中誠也、細貝光司			実務経験	有	職種	俳優				
担当教員紹介											
田中先生-劇団の制作として10年以上舞台制作に携わり精通しています。 いわいのふ-役者、ナレーターとして活躍する傍ら劇団も立ち上げ舞台活動に邁進しています。 染谷-劇団所属役者として映像系から舞台に至るまで幅広く活躍しています。 山中-役者、声優として幅広く活躍しています。 細貝-劇団所属役者として映像系から舞台に至るまで幅広く活躍しています											
授業概要											
この科目を受講する学生は1年次に学んだことを総括し、現状から将来にかけて更なる演技力を身に付けるために演劇公演に出演する。 声優・俳優になるための知識、台本の読解、技術のスキルアップとともに演劇が作られるプロセスを知り、演者以外のスタッフがどのようにかかわっているか学ぶことを目的とする。											
到達目標											
台本を読み、作品の世界、役の人物を理解し、一緒に演じる人達と稽古を重ねて共有して行き、台詞を覚えて喋り、動きを考え、一つの芝居を創り上げて行くことを目標とする。											
授業方法											
演劇業界の現場で実施されている形式に近い形で演劇公演を実施する。舞台の制作は演劇スタッフ科の学生が担う。この科目を受講する本学科の学生はここまで学んだ演技を掘り下げ、自身の演技力を客観的に振り返りながらさらなる演技力向上を目指す。スケジュールを意識し本番日から逆算して今、自分がやるべきことは何か考えるとともにスタッフがどのような作業をしているか示し、1作品を作るのは共同作業であり、時間、空間、作業の共有と制約があることを学び、作品作りに目を向け視野の拡大を目指す。かかわる人員の作業を認知し積極的接することでコミュニケーション能力を高める。											
成績評価方法											
成果発表	50%	授業時間内に行われる発表にて評価する									
平常点	40%	欠席・遅刻、授業への取り組み姿勢で評価する									
課題点	10%	課題への取り組みで評価する									
履修上の注意											
声優・俳優にとってコミュニケーション能力が大切なので、基本であるあいさつがしっかりと出来るようになり、公演にかかわる人達と積極的に話をし稽古を重ねて行けるようにする。又、理由のない遅刻や欠席はしないようにする。授業時数の4分3以上出席しない者は試験を受験することができない。											
教科書教材											
公演作品の台本を稽古開始日に配布する。											
回数	授業計画										
第1回	顔合わせ/スタッフを含め公演にかかわる人員とそれぞれの作業を認識する。										
第2回	台本読解/全体の構成、場面の展開、登場人物、大まかな公演時間を把握する。										
第3回	グループ決定。および配役オーディション。										
第4回	読み合わせ①/配役に分かれて読み合わせ。役作りに取り掛かる。										
第5回	読み合わせ②/配役に分かれて読み合わせ。場面と共演者（役）の理解をする。										

2022年度 日本工学院専門学校	
声優・演劇科	
舞台総合実習	
第6回	立ち稽古①/出演者の解釈で演じられる。演出家とすり合わせしながら稽古する。セリフをほぼ暗記する。
第7回	立ち稽古②/演出家の指示を受けより作品にマッチした演技ができるよう目指す。セリフを完璧に暗記する。
第8回	立ち稽古③/演出家の指示通りの表現ができる。視野を1場面にとどめず作品全体を見渡す。場面ごとにキャラクターが変わらないように一貫性を維持できる。
第9回	抜き稽古①/場面ごと共有するべき動き、タイミング、表現の方向性などスタッフ含め出演者同士で共通認識を深める必要のある場面の稽古。
第10回	抜き稽古②/場面ごと共有するべき動き、タイミング、表現の方向性などスタッフ含め出演者同士で共通認識を深める必要のある場面の稽古。
第11回	通し稽古①/台本の始めから、終わりまで通して稽古する。
第12回	通し稽古②/台本の始めから、終わりまで通して稽古する。
第13回	抜き稽古③/通し稽古を受けて、場面ごとの稽古で各場面の完成度を高める。
第14回	抜き稽古④/通し稽古を受けて、場面ごとの稽古で各場面の完成度を高める。
第15回	通し稽古③/台本の始めから、終わりまで通して稽古する。
第16回	通し稽古④/台本の始めから、終わりまで通して稽古する。
第17回	小屋入り、リハーサル①/各グループの場当たり、通し稽古
第18回	小屋入り、リハーサル②/各グループのGP
第19回	修了公演① 1グループにつき1日1公演出演 期間中合計2公演に出演
第20回	修了公演② 1グループにつき1日1公演出演 期間中合計2公演に出演